ひらかたモデル作成に向けて

めざす姿

・少子化の中でも、将来にわたり、枚方市の子ども達が スポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保

・ 地域の持続可能で多様なスポーツ・文化芸術等に親しむ 環境を一体的に整備し、子ども達の多様な体験機会を確保

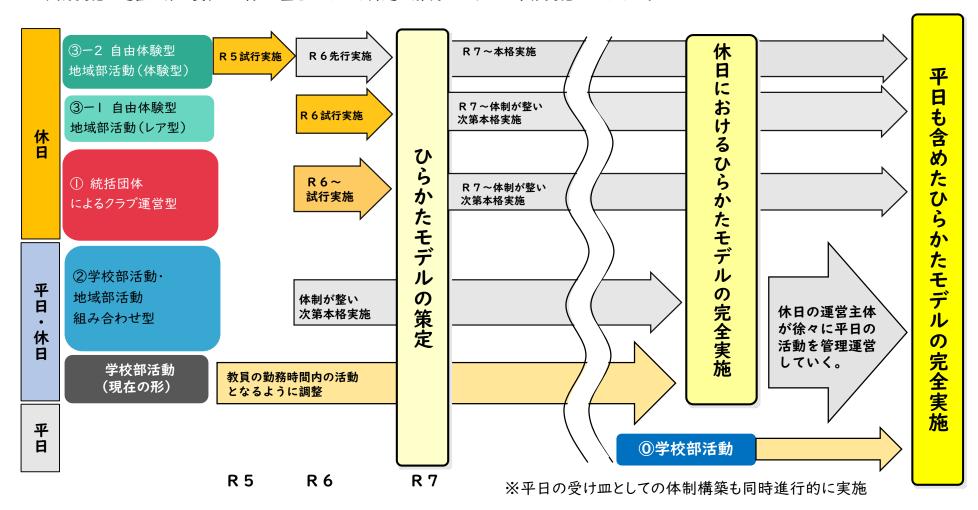
ひらかたモデル策定のための課題

- (1) 指導者の質の保障・量の確保方策(教員の兼職兼業含む)
- (2)スポーツ施設の確保方策
- (3)会費の在り方
- (4)保険の在り方
- (5) 保護者・地域への周知方法について
- (6) 部活動に係る備品について
- (7)新たな課題検証

ひらかたモデル ロードマップ(平日含む)(案)

枚方市のめざす姿

- ・少子化の中でも、将来にわたり、枚方市の子ども達がスポーツ・文化芸術に継続して 親しむことができる機会を確保
- ・地域の持続可能で多様なスポーツ・文化 芸術等に親しむ環境を一体的に整備し、子ども達の多様な体験機会を確保
- ※試行実施で運営主体や責任の所在を整理しながら課題を解決したうえで本格実施につなげる。



ひらかたモデル ロードマップ(平日含む)(案)



各種目の専門委員等の協議のポイント

- (1) 枚方市立中学校に現存する部活数
- (2)顧問の先生方の意向
- (3) 市教委事務局付の統括COとなれる人材の有無 等

(令和5年度~令和6年4月まで)

STEP I

- (1)各種目の専門委員等と協議し 「① 統括団体によるクラブ運営型」 「②学校部活動・地域部活動組み合わ せ型」をめざすかを決定する。
- (2)「②学校部活動・地域部活動組み合わせ型」を選択した種目については、「②-I学校に部活動指導員を派遣する型」もしくは、「②-2市教委事務局付の統括COを設置する型」のいずれかを選択する。

STEP 2

(令和6年5月~令和6年7月まで)

- (I)「① 統括団体によるクラブ運営型」を 選択した種目に対しては、統括団体から人 材募集を行うよう、委託仕様書に書き込む。
- (2)兼職兼業の制度を整え、教職員が統括団体へ指導者として登録できる制度を整える。
- (3)「②学校部活動・地域部活動組み合わせ型」を選択した種目に対しては、市教委事務局が「部活動指導員」としての人材募集を行う。

STEP 3

(令和6年~令和7年3月まで)

- (I)「① 統括団体によるクラブ運営型」を選択した種目に対しては、統括団体か採用し、採用前研修を実施後、地域部活動の指導者として派遣する。
- (2)「②学校部活動·地域部活動組み合わせ型」を選択した種目に対しては、市教委事務局が「部活動指導員」を雇用し、派遣する。

① 統括団体によるクラブ運営型(案)

各年間45回程度 (原則週I回3時間)

指導者の派遣 は統括団体の 人材バンクより 学校ごとに統括COを置く 指導者は2名 I人が総括指導者 I人が補助指導者

○○中学校

バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 等

○○中学校

バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 等

○○中学校

バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 等

〇〇中学校

バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 等

拠点クラブA

軟式野球クラブ(男子) 剣道クラブ

拠点クラブB

軟式野球クラブ(女子) 女子サッカークラブ

拠点クラブC

ラグビークラブ

②学校部活動・地域部活動 組み合わせ型(案)

平日1時間 休日3時間

<u>指導者は</u> 部活動指導員 <u>I名</u>

○○中学校

バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 軟式野球クラブ(男子) 剣道クラブ 等

○○中学校

バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 等

○○中学校

バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 軟式野球クラブ(女子) 女子サッカークラブ 等

○○中学校

バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 等

○○中学校

バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ ラグビークラブ 等

○○中学校

バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 等

○○中学校

バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 等

○○中学校

バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 等

③一1 自由体験型 地域部活動(レア型)(案)

各年間40回程度

<u>指導者の派遣</u> は統括団体の 人材バンクより 指導者は2名 I人が総括指導者 I人が補助指導者

場所未定

Eスポーツクラブ等

場所未定

スケートボードクラブ等

教育文化センター等

場所未定

場所未定

ダンスクラブ

ボウリングクラブ等

女子サッカークラブ等

③-2 自由体験型 地域部活動(体験型)(案)

<u>指導者は</u> 大学生など

各年間10回程度

関西外国語大学

摂南大学枚方キャンパス

○○クラブ○○クラブ

○○クラブ ○○クラブ

大阪工業大学

○○クラブ○○クラブ

③一2 自由体験型 地域部活動(体験型)(案)

枚方市公認クラブとして認定し、紹介する

指導者は 生涯学習市 民センター所 属団体など

○○生涯学習市民センターなど

○○生涯学習市民センターなど

○○生涯学習市民センターなど

00クラブ

〇〇クラブ

00クラブ

○○生涯学習市民センターなど

○○生涯学習市民センターなど

○○生涯学習市民センターなど

○○クラブ

○○クラブ

○○クラブ

①学校部活動(案)

休日の体制整備後

部活動方針の改訂

平日は1時間以内 休日は活動しない 必修クラブを市として導入(週1時間授業時間として)など



同時並行的に進めて行く

平日の受け皿の整備

総合型スポーツクラブの拡大 生涯学習市民センターでの文化系クラブへの受け入れ オンラインなどを活用した吹奏楽のレッスン 等

区分	生徒の希望	活動場所	指導者	参加者の費用負担	
				参加費	保険料
① 統括団体によるクラブ運営型 統括団体により地域クラブを運営していく形	大会などでの活躍をめ ざす 様々なスポーツや文化 に親しむことをめざす	・各学校 ・拠点校 ・外部施設等	・団体の専門人材 ・有資格の外部人材 ・教員の兼業	検討課	検 討課
③一 自由体験型 地域部活動 (レア型) 統括団体が、従来の学校にない競技を新たな受け皿として設置し運営する形	大会などでの活躍をめ ざす 様々なスポーツや文化 に親しむことをめざす	外部施設等	・団体の専門人材 ・有資格の外部人材 ・教員の兼業	課	題
② 学校部活動・地域部活動 組み合わせ型現在の部活動に外部指導者を派遣する形	大会などでの活躍をめ ざす 様々なスポーツや文化 に親しむことをめざす	学校	有資格の外部人材	無料 (市の負担 国の補助 金)	なし
③-2 自由体験型 地域部活動 (体験型) 大学等との連携により新たな受け皿を設置し運営する形	様々なスポーツや文化 に親しむことをめざす	大学等	学生等	無料 (市の負担)	年800円 (参加者の負担)
① 授業の延長的活動型 学校部活動 授業の延長的な活動で、平日に30分から60分 程度、勤務時間の範囲内で教員が対応する形	様々なスポーツや文化 に親しむことをめざす	学校	教員	無料	なし

中学校全生徒数9407人 部活動所属生徒数8254人	指導者 年間総事業費		負担の内訳		生徒一人あたり 運動部+ブラスバン
区分(①型②型は指導者謝金のみ)			保護者	市	<u>ド部=6891人の7割</u> 参加4823人で試算
①-I統括団体によるクラブ運営型 Sエキスパート型(指導者謝金 4000円/I時間 交通費500円) 統括団体により地域クラブを運営していく形(年45回) 294クラブ(運動部+ブラスバンド部)	2人	330,750,000円		検討	68,577円/年 5,714円/月 保険料800円/年
①-2統括団体によるクラブ運営型 エキスパート型(指導者謝金 3000円/1時間 交通費500円) 統括団体により地域クラブを運営していく形(年45回)	2人	251,370,000円		課題	52,119円/年 4,343円/月 保険料800円/年
①-3 統括団体によるクラブ運営型 スタンダード型(指導者謝金 I600円/I時間 交通費500円) 統括団体により地域クラブを運営していく形(年45回)	2人	140,238,000円			29,076円/年 2,423円/月 保険料800円/年
② 学校部活動・地域部活動 組み合わせ型 (指導者謝金 1600円/1時間) 現在の部活動に外部指導者(部活動指導員)を派遣する形 739,200円(平日含む)/1人 343部活(現状 文化部+運動部)	I人 2人	253,545,600 円 507,091,200円	0円	0円	<u>部活動全参加者8254</u> 人で試算 人: 30,717円/年 2人: 61,435円/年
③一 自由体験型 地域部活動(レア型) (指導者謝金 1600円/ 1時間 交通費500円) 統括団体が、従来の学校にない競技を新たな受け皿として設置し運営する形 (年40回) 20クラブ 会場使用料10000円/ 1回 消耗品費 クラブ50000円/年 事務手数料	2人	20,976,000円		検討課題	1クラブ30人20ク ラブ=600人の 7割参加420人で試算 49,942円/年 4,162円/月 保険料800円/年
③-2 自由体験型 地域部活動(体験型) 大学部活動等との連携により新たな受け皿を設置し運営する形(年10回) 8クラブ×10回/年×10000円	大学部活 動のメン バー数	800,000円	0円 保険料負担	800,000円	参加料なし 保険料年間800円
① 授業の延長的活動型 学校部活動 授業の延長的な活動で、平日に30分から60分程度、勤務時間の範囲内で教員が対応 する形		0円	0円	0円	参加料なし 13